

チェルフィッチュ

テキスト・演出＝岡田利規

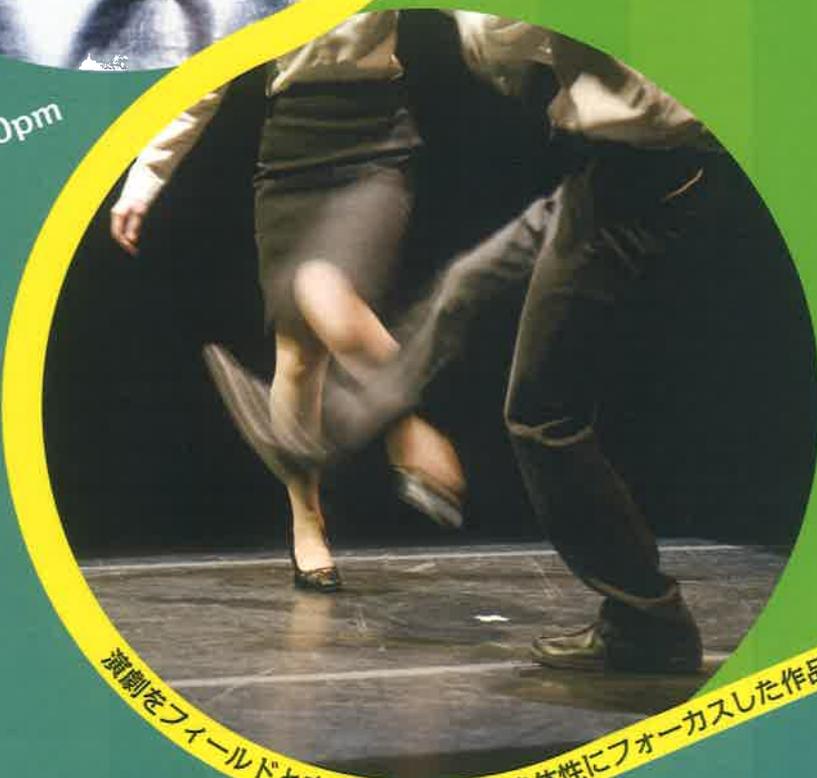
クーラー

アイホールダンスコレクション vol.58



AI-HALL

2009.
11.19 (Thu) 7:30pm
11.20 (Fri) 3:00pm / 7:00pm



演劇をフィールドとする演出家による身体性にフォーカスした作品、2本立て公演

ソーグー

作＝吉澤祐太 振付＝芦谷康介 振付・演出・美術＝杉原邦生

t e u t o



ノジーな身体性に注目

チェルフィッチュ クーラー

テキスト・演出＝岡田利規

出演＝山縣太一、安藤真理

初演：WE LOVE DANCE FESTIVAL (2004年8月 アートコンプレックス1928)

チェルフィッチュの特有な身体性は、時に「ダンス的」とも評価され、2005年7月本作品『クーラー』(世田谷バスリクシアター・東京)で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005～次代を担う振付家の発掘～」最終選考会に振付家として岡田利規がノミネートされた。振付に対する明確なコンセプトを提示し、コンテンポラリーダンスシーンに驚きと衝撃を残した作品。今年、本作品を60分に拡張した新作『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』を製作。10月、ベルリンにて世界プレミアを迎える。

岡田利規(テキスト・演出)

1973年生まれ。演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。より速くに行ける可能性のある作品を生み出すため、ある方法論を持ちつつも、その方法論をそれ以上「引き寄せないように、それをいつまでも掴んでいないように、すぐに手放すように」心がけるといふ、それ自身が不思議な方法論で演劇作業を実践する。3月の5日間、第49回岸田國士戯曲賞を受賞。07年2月新潮社よりデビュー小説『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を発表。翌年第2回大江健三郎賞受賞。アイホールにおいては、一般公募の出演者とのワークショップ公演「奇妙さ」を上演。(07年3月)

チェルフィッチュ

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立。横浜を中心に活動が続ける。チェルフィッチュ(chelifitsch)とは、自分本位という意味の英単語セルフフィッシュ(selffish)が、明晰に発語されぬま幼児語化した造語であり、現代の日本、特に東京の社会と文化の特性を現したユニット名。

日時

2009年11月19日(木) 7:30pm

20日(金) 3:00pm★ / 7:00pm

★ 終演後、「岡田利規×杉原邦生」トークあり。

* 開演1時間前より受付開始 / 開演30分前より開場。

* 未就学児童の入場はご遠慮ください。

会場・チケット取扱・お問い合わせ

アイホール (伊丹市立演劇ホール)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

TEL: 072-782-2000

FAX: 072-782-8880

info@aihall.com

http://www.aihall.com



あの自転車ダンス、再演。

teuto ソーグー

作＝吉澤祐太、振付＝芦谷康介、振付・演出・美術＝杉原邦生

出演＝芦谷康介、京極朋彦、黒田政秀、竹内英明、小須田衣里、富松悠、舟木マロン

初演：Take a chance project "Platform" (2006年6月 アイホール)

吉澤祐太のテキストを基にダンス作品として製作された。ダンサーが終始、自転車に乗り続けるという大胆な演出によって、現代の身体とコミュニケーションのかたち、またそれらを取り巻く社会のスピード感を鮮烈に浮かび上がらせた。初演当時、故太田省吾氏から「再演するべき」と強く推された『ソーグー』が、さらにパワーアップして登場。

杉原邦生(振付・演出・美術)

1982年生まれ。演出家、舞台美術家。京都造形芸術大学大学院芸術研究科博士課程に在籍。特定の団体に縛られず、さまざまなユニット、プロジェクトでの演出活動を行っている。人を喰ったような生意気さとポップなバランス感覚を兼ね備えた演出が特徴。2004年、自身が様々な作品を演出する場として、プロデュース公演カンパニー「KUNIO」を立ち上げる。アイホールとの共同製作事業「Take a chance project」で、KUNIO03「椅子」(作：E・イヨネスコ)、KUNIO05「迷路」(作：F・アラバール)を上演。こまばアゴラ劇場が主催する舞台芸術フェスティバル(サミット)ディレクターに「冬のサミット2008」より就任。任期は2年間。

吉澤祐太(作)

京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科2期卒業生。言葉の反復と広がりやを軸にして、物語の中の言葉だけでなく、言葉そのものを意識した執筆作品を発表してきた。これまでのteuto全作品を執筆。2005年卒業制作「HAPPY?」の戯曲で学長賞を受賞。

芦谷康介(振付)

大阪府出身。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科卒。舞台では、奇々怪々な存在感が魅力。これまでの主な出演作品に05年6月「聞こえる、あなた? - fuga #3」(作・演出：太田省吾)、09年1月KUNIO05「迷路」(作：フェルナンド・アラバール/演出：杉原邦生)、木ノ下歌舞伎「桂川」(演出：菅野真助)、演出：木ノ下裕一)、また振付作品に、木ノ下歌舞伎舞踊公演「三番叟」(演出：杉原邦生)、ソロダンス公演「じぶんさがし」がある。

teuto

ナンセンスな言葉と俳優の身体との関係性を軸に、それらが混交する場としての劇空間づくりを実験的に行っている。2002年、京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科2期生により結成。現在、吉澤祐太・杉原邦生・仁科正之の3名で活動。過去の上演作品にvol.1「ローデュー」(02年)、vol.2「アドア」(03年)、vol.3「マンダラ」(05年)、vol.4「ソーグー」(06年6月)がある。

チケット料金 日時指定・入場整理番号付き自由席

前売：2000円 当日：2500円 60歳以上：1000円(前売・当日共)

* 60歳以上のチケットは、JCDNダンスリザーブとアイホールでのみの取扱です。

このチケットをご希望のお客様は、当日受付にて年齢の分かる書類をご提示ください。

チケット取扱

電子チケットぴあ TEL: 0570-02-9999(Pコード: 398-682)

JCDNダンスリザーブ http://dance.jcdn.org/ (オンライン予約サービス)